

少年連盟だより 第8号

ののさまといっしょ

発行/新潟教区少年連盟

〒940-2402 新潟県三島郡与板町新潟教区教務所内
TEL 0258-72-2120 FAX 0258-72-2536



単位会紹介

正覚寺子ども会

代表 若槻 司

長く続けることを目標にして、あまり忙しくないときに日時を設定し活動しております。核家族化が進み、自宅に仏壇もない家庭が増え続ける今、三年目にしてようやく『お寺の子ども会』というものが認知されてきました。今後はより身近なものとするために、定例で行えるようにしたいと思います。

- 春 会員証を作ろう
 - 夏 お寺に泊まるう
 - 秋 来年の目標を書こう(習字)
 - 冬 スキーに行こう
- 参加人数 十数人〜二十数人

サブテーマ

発行/二〇〇一(平成十三年)
日時/年四回の季節開催
午前十時〜十二時
内容/正信念仏偈
法話
アトラクション



2002
新潟教区

夏期少年研修会

14年度教区
サマースクール報告



地藏堂組 勝誓寺
上山 善英

14年度の教区サマースクールは越後川口のキャンパス川口で行われました。

教区スタッフはもちろんのこと、龍谷大学宗教教育部の夏期巡回中でもあり、学生の方にも協力していただきながらのプログラムとなりました。アスレチックコースや炊事場、キャンプファイヤー場に体育館、宿泊はコテージと施設が充実していたこともあり(反面移動が大変でしたが)参加してくれた子供たちも楽しんでくれたようでした。私は2日目のクラフト遊びを主に担当したのですが、スライム作りの配合や担当してくるスタッフへの説明不足などたくさん反省が残りました。

した。あれもこれもと欲張りすぎてしまい、反省しています。各プログラムを発案し、担当者だけでなくスタッフの全体(最低でも班担当者)が把握し、出来るようになって本番を迎えるようにしなければと思います。

少しづつでもスタッフがい意味で経験を積んでいくことが、大変かもしれないですが、教区の少年連盟の底上げになると思います。

子ども達の声

子ども達の感想文をそのまま掲載させていただきます。

元上組 長永寺
小1 にしわきこうたろう

きのうきやんぷをしておふろにはいるまえにあすれちつくてゆうものをしたのしかなかったです。あとはなびをしてたのしかつです。

キャンプファイヤーばん

元上組 長永寺
3年生 西脇祐太郎

キャンプきのうキャンプに

いったのしかつたです。よるに、花びをあげてたのしかつたです。

ユウホーににてるはなびがあつてとつてもたのしかつたです。あとあさになつてらじをたいそうがおわつたらごはんをたべました。

そうじをやつてたいくかんにいってあそびました。ほくは、たけんぶたーとごむでつぽーとすらいむおつくりました。

キャンプファイヤー

三条組 至徳寺
3年生 宗村良征

ゲームやうたおうたてあとうちゆうじんがやきて。おしろかたです。

かとりせんこうはん

元上組 長永寺
5年生 小林愛衣子
(そしてリーダー)

1泊2日で、お寺のサマースクールに行った。夜はキャンプファイヤーをした。まっ赤にもえる火をかこんで、いろいろなゲームをした。友達と、「何これー!」などと言いながらも、とても楽しめたと思う。

夜、ねるためにコテージへもどり、計画どおり?みんなできわいだ。同じコテージで、とてもおり紙の上手な方がいたので、その人に、6人全員で「カニ折り方」についておそわつた。私は1びきしかできなかつたけど、とてもいい思い出になった。

2日目は、クラフト遊びをした。私は、木のえだやビーズなどを使ってキーホルダーを作つた。どこにもない自分だけの作品ができて、とてもうれしかった。

たくさんさんの思い出ができて、いいサマースクールだった。

サマースクールの思い出

長岡組 正覚寺
5年生 森山光輝

ぼくは、サマースクールでいろいろな思い出ができました。はじめにコテージにいきました。

コテージにはクローラーやテレビもありました。そのあとアスレチックであそびました。たのしかったです。夜には、キャンプファイヤーや花火もしました。来年もあつたら来たいです。

2003
新潟教区
夏期少年研修会

阿弥陀様カレー

巻組 願正寺
乙山由起子

ドキドキしながら提案したものの、スタッフ一同の「きつとんでもないカレーができる」「想像しただけで食べたくなくなりそう」などの意見に、やはりボツかなと思いましたが「失敗でも成功でも、思い出に残るカレーになるよね」という一言に助けられて実現した阿弥陀様カレーです。当日集まった材料にやはり初めてなのであまり冒險的な材料がないことに、ほっとしながらもちよつと残念に思ったのも事実です。手紙で書いておいたにもかかわらず、材料が刻んでないものもあり、思いの外時間がかかりました。夕食までにはおいしい阿弥陀様カレーができました。お代わりして食べてくれた子、苦手な具に戸惑った子といろいろですが、子供達がいつもと違うカレー(同じ材料では二度と食べることができない)をいつもと違う場所で、共に阿弥陀様の恵みをよるこ

び合掌する姿を見れて、今回スタッフになれたことを感謝しています。

子ども達の声

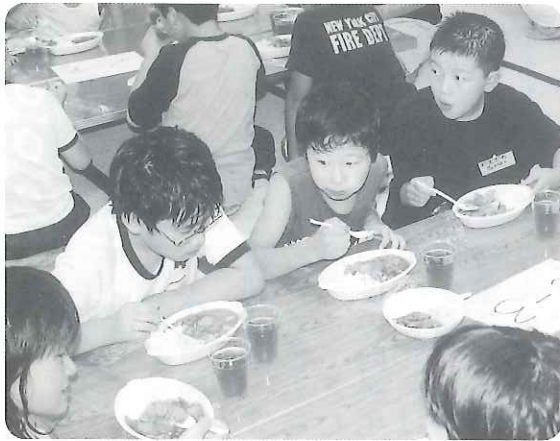
ウオークラリー

元上組阿弥陀寺

1年生 むとうたいぞう

8がつ21木ようび

はしつてつかれておちやをのんでふたをおとしました。で、こんどおちやをすこしこぼしました、おにやんまもみしました。



子ども会

長岡組正覚寺

2年生 石川日奈子

わたしは、この2日かん楽しくあそびました。このよいたは、友だちを、ふやすことができます。わたしはゲームをすこしやれなかつたけれど、一番楽しい日でした。ウオークラリーは、一番になれなかつたけれどとてもいいおもいでができました。このまま子ども会をつづけたいです。またあえるかもしれないのでらい年もきたいです。

うれしかったとき

地藏堂組勝敬寺

2年生 近藤亮太

ぼくはウオークラリーで、ゴールの目のまえにきたときうれしかった。

ぼくはウオークラリー⑤ばんにいくときまよつたのかまがえたのかわかりませんでした。でもようやくついたのでうれしかったです。

こんどもきてみて、またみんなとあえたらあいたい。さいごにいちばんむずかしかったのがウオークラリー①ばんでした。

感想

巻組 妙光寺

4年生 井上大乗

ぼくは友だちができました。5年生の小林利充くんと友だちになりました。来年も同じグループになりたいです。

ぼくはよるのごはんのカレーのなつとうとジャガイモとにんじんがとくにおいしいと思いました。

おねんじゆ作りの時は、みんなからいろいろおそわり、ぼくも、利充くんたちにおしえてあげました。

来年も利充くんと遊びたいです。

来年は友だちといっしょにいつて、利充くんをしようかします。

サマースクールでの感想

長岡組 正覚寺

6年生 新保詩織

このサマースクールで、楽しかったこと、うれしかったことなどがたくさんありました。

1番うれしかったのは、友だちができたことです。

萌子ちゃんという、仲の良い友達ができました。

次に楽しかったのは、みんなで遊んだことや、みんなと



ウォークラリーをしたりしたことです。
 みんなと考えたり、歩いたりして、ウォークラリーはとも楽しかったです。男子とも、いろいろと話すことができました。最初は、男子とは話したりできないと思っていたけれども、何かをいっしょにやったりして、だんだんと話したりできるようになりました。
 そのほかにも、ゲームをしたり、念珠を作ったりと楽しいことはたくさんありました。こんなに楽しいサマースクールは、とても思い出に残る楽しい旅行でした。

2002 夏期巡回報告

地藏堂組 勝敬寺

鈴木智隆

私のお寺では夏期巡回が3年目を迎えました。子供たちには、だいぶ定着をしてきたようです。私の子供の同級生や近所の子供を中心に40名ほどが参加してくれました。第4土曜の午後3時からというのもあり、たくさんのお保護者の方々も参加していただきました。

昨年も来て頂いたクマのお兄さんを含めた計4名の龍大生の方が2時間に渡り仏参指導やゲーム、人形劇をしてくださいました。保育園児から小学生の高学年と、年齢の幅もあり、最初はなかなか打ち解けませんが、ゲームが始まるとみんな声を上げて



喜んでいました。人形劇では、みんな真剣な眼差しで見つめながらお話を聞き入っていました。帰りの際には、「また、来年もきてね」とお兄さんたちに声を掛けながら元気に帰って行く子供たちの姿を見送ると、心の中が熱くなりました。お寺の本堂に子供たちの声が響く喜びを継続して行きたいと心から思いました。

2003 夏期巡回報告

長岡組 西福寺

藤井哲雄

長岡組内の各寺院が持ち回りで、龍谷大学宗教教育部のメンバーによる夏期巡回を開催するようになって、5年目になります。

長岡組では、少年連盟に加えている寺院が少なく、1日だけの行事ですが、この巡



回を通して、子供会の輪を広げたいと、参加もするようになりまし。

今年、西福寺(渡里町)を会場に、四ヶ寺二十名の子供たちで開催しました。

私のお寺は子供会を結成していないため、参加してくれた子供たちが、「ちゃんと座れるかな」「合掌できるかな」「他の寺院の子供たちと仲良くできるかな」と心配でした。

しかし、音楽法要、法話と初めての体験だったと思いますが、スタッフの指導を素直に聞いていく姿勢には驚かされました。

また、ゲームが始まり、緊張もほぐれると賑やかになり、騒ぐこともありましたが、子供同士で注意をする場面もありました。

子供たちから、私が教えてもらった一日でした。



2002年度
少年教化寺族
女性研修会に参加して

三条組 至徳寺

宗村紀代子

昨年七月、台風と一緒の集
合に24名が参加し、有意義な
研修会でした。

話し合いでは、子供会・日
曜学校の大事さは分かっているものの、始めるのは…、
もっとよい方法は…、と模索
しておられることも分かりま
した。

講義「いのちの伝承」の岡
百合子講師の『一見豊かな世
の中だが、命の大切さを実感
し、自分で考えて生きていけ
る子供は少ない。お寺は、子
供たちが安心して何もしない
でいられる場所であり、自分
たちで勉強する場所でもあ
る。』というお話が心に残り
ました。

2002
年度

少年教化推進員養成研修会に
参加して

三条組 専正寺

廣橋卓也

昨年の六月五日から七日迄
の日程で研修会に参加させて
もらいました。

佐々木恵雲師による「いの
ち」についての講義、森田眞
円師による「こどものための
法話」の講義など大変興味深
い内容でした。

更には、二日目のウォーク
ラリーです。早速、今年度の
夏の研修会で使わせて頂きま
した。
実践することが如何に大事
かを改めて感じているところ
です。



2003年度
少年教化寺族
女性研修会に参加して

元上組 専徳寺
佐々木貴子

去る七月八日、九日の第十回研修会に参加させていただき、大変感銘を受けました。

一日目、総裁様ご臨席での開会式。一人ひとりに寄り添ってのお言葉、ありがたく胸いっぱいでした。記念講演は外松太恵子先生の「いのちの伝承」一語一語かみしめ胸に刻みました。続いて事例紹介、体験発表、若い方々の熱気あふれるお話に日校の危機感などは吹っ飛びました。夜の豪華なディナーは先生がたと共に大いに盛り上がりましたがこの間にも心こもった数々の企画、自坊でのあり方を学びました。二日目は山之内先生ならではの模擬日校、何と素晴らしいことか、脱帽です。ユーモラスな中に行き届いた内容、力満ち満ちた日校風景。これなら部活さぼっても寺に飛んでくるだろうなと感動々々でした。

二日間の充実した内容、綿密な計画、そして何より私たちが受講者を思い、お忙しい先生方が総力を結集してご指導下さるその様子に本気で取り組むことの大切さを身いっぱい受けとめました。この二日間の中に「みんなの手をつな

2003年度

少年教化推進員養成研修会に

参加して

元上組 長永寺

鍵水智子

去る6月2日、3日、4日、本山で行われた2泊3日の研修会に参加の機会を与えていただいた。参加者は全国から集まった二十一名。

まずは初日、開会式後、前原寛先生のお話しが有り「いのちの伝承」を題して、今の子ども達の危機はすなわち大人社会の危機の現れである（鏡である）いかに現代の子どもが社会の中で危険な状況におかれているかを考えていかなければならない、という厳し

き、心からやり抜こう」の思いを感じ取り、明日からの自坊での取り組みの糧にさせていただきます。ありがとうございました。

いくも切実な投げ掛けを受ける。続いて各教区の現況、実践の紹介、更にはゲームなどウォークラリーやクラフト製作、沢山のゲームなどが次々と行われた、こうした体験の中で仲間の大切さ、作る喜びなど、みんなで乗り越える喜びなど、子ども達に伝えてあげたい事、伝えていきたいことを改めて、体一杯、心一杯に味わい、感動を得る事が出来ました。3日目は内藤昭文先生による、子どもたちのための法話と題したご講義があり、子どもに対するがゆえの法話

の難しさ、また、子どもだからこそその法話の大切さなどを学ぶことが出来ました。2泊3日という限られた中でも大変内容深い研修会でしたが、参加された皆さんそれぞれが様々な悩みや課題を抱えながらも、少年教化という一つの大きな目標を持ち真剣に目の前のハードルを受け止めようとす姿に私自身大変勇気付けられるように思いました。最後にこの研修で深く味わったことに、少年教化という課題を受けた中で私たちが子どもたちと関わっていく関係が、決して人数でも無く、一方的な教えでもなく、ましてやお寺の将来のための種まきでも材料でも無いということ、子どもたちも、そして関わっていかうとする私たちも共に子育ての現場であり、互いの生きる命の現場であるということでした。教えていく「教育」でなく、共に子育ての現場で「共育」のばでなければならぬと思いを新たにいたしました。そして更には、その結果が、「少年教化」「寺の活性化」へとつながってくれたらと願っています。

少年連盟中央研修会
に参加して

三条組 長念寺
6年 山之内唯香

私は、長念寺子ども会から初めてこの研修会に参加しました。最初は友達ができるかなあと思っていました。ゲームやクラフト、比えい山に登ったりして最後には、わかれたくないという思いでいっぱいでした。

研修会の中で一番楽しかったことは比えい山の山登りです。山登りでは、地図だけでゲームをしたり、目的地にたどりつけるようにすることをしました。私は、絵文字だけのような地図で、目的地までたどりつけられるのかなあと思いました。でも地図どうりに道もちゃんとしていて、おもしろいゲームなどもあったのでワクワクドキドキで、とても楽しかったです。まだ6年、中1、2年生があるので機会があればまた行きたいです。

プトラ作製

「別院に来たらまたプトラに会えるの？」という園児のひと言が、別院プトラ誕生のキーワードでした。本願寺プトラの通気性が悪く、重い、足元が見えないなどの欠点をクリアすべく、試行錯誤したものものサマースクールではプトラに改善点を残したまままだたのが悔やまれます。その後

再度作り直したので、来年はかわいいうプトラに会えると思います。夏以外にもこんなところで使ったら面白いんじゃないかというアイデア募集します。



別院落慶法要
「子どもの集い」を企画して思う

三条組 長念寺 山之内浩乗

新しくなった別院に、幼稚園の仏の子どもの声が響き渡りました。その姿を、参拝された皆様、ほのほのと笑いながら、見ている姿に、お念仏が受けつがれる慶びを感じた事です。

ある新聞に、おもしろいアンケート結果が掲載されました。嫁入り道具があるならば、縁切り道具だってあってもいい。もし離婚する時に何が一番ほしいですか、という質問に第一位は、預金通帳・現金でありました。男の子・女の子は、四位・五位に出るありさまで。自分中心に考える親が増えてきているのかもしれない。朝日新聞には、長生きする秘訣は何かとの質問に、男性は「いつまでも異性に興味を持つ」女性「早く夫と死に別れる」とありました。家族の絆が薄らいだ結果かもしれません。親から子、子から孫へと受け継がれてきたお念仏が、現代社会の流れによって、忘れられようとしています。考え

2004年研修会・行事予定

平成16年少年連盟の行事予定です。本山行事では、

●少年教化推進員養成研修会
期日：2004(平成16)年
6月1日(火)

会場：西山別院
3日(木)(3日間)

●第10回少年教化寺族婦人研修会
期日：2004(平成16)年
7月6日(火)

会場：本願寺聞法会館
7日(水)(2日間)

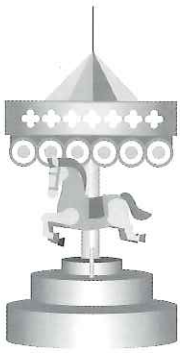
●第28回少年連盟中央研修会
期日：2004(平成16)年
3月29日(月)

31日(水)(3日間)

会場：本願寺聞法会館
等が行われます。

本山での行事への参加は随時募集しておりますので、お申込みやお問い合わせは教務所までお願いします。

教区少年連盟行事や詳しい日程は、決定次第ご案内いたします。



会長の反省とお詫び

少年連盟の会長を引き受けてより、4年がたちました。ふりかえってみますと、数々の反省と、スタッフへの感謝ばかりであります。

最初の一年は、ほとんど(いや、全くといってもよい)何もしないまま終わってしまいました。2年目からやっと行動を開始するというお粗末さでありました。しかしながら、スタッフの方々や、教区寺院、教務所、事務局の多大なるご協力のおかげで夏の子供会を実施する事ができました。皆さまのご支援に感謝いたします。

本年度の「サマースクール」は、新しい新潟別院での開催となりました。地元での開催ということ、別院での久々の「サマースクール」ということで、スタッフ一同盛り上がったことでした。事前の打ち合わせも、例年よりも回数を重ね、本番に取り組み、事後の反省会も開催し、また、まだまだ改善していかねばならないことや、来年以降に向けてのたくさんのアイデアが話し合われました。

来年から、「サマースクール」の反省を生かし、益々すばらしく、発展的な会、楽しい子供会が行われれば嬉しいと思います。

さて、幾多の反省点の中で、最大の反省は、昨年度の少年連盟会報「ののさまといっしょ」を発行することが出来なかつたということでありました。一年間の行事報告等を皆さまにお伝えすることが出来ませんでした。そのことで、様々な行事に参加してくださった方々や、少年連盟単位の御寺院には大変にご迷惑とご心配をおかけしました。この場を借りましてお詫び申し上げます。

今回の「ののさまといっしょ」は、昨年号と合併した形で発行することとなりました。ご協力して下さいました皆さまには、御礼申し上げます。有り難うございました。至らぬ点は多々ありますが、今後も皆様方からのご指導と、少年連盟に対するご協力を宜しくお願いいたします。

会長 高橋純明

編／集／後／記

～編集にあたり思うこと～

最初に皆様にお詫び申し上げます。言い訳になりませんが落慶法要を控えスタッフ・別院職員がなかなか集まることが出来ず、編集委員の力不足で発行が遅くなりましたことをお許しください。

少年連盟のスタッフも新しい方、また女性の方も増え益々活発になっております。1年間の行事も終えいかがお過ごしでしょうか。日々、単位の皆様は子どもたちとふれあいましたか。少年連盟の活動といえます。夏の研修会が中心であります。子供たちと一緒に過ごさせてもらっていますと子どもたちの素直な心、また凡夫の一人である。という事を実感させてもらうことです。今直ぐにでもお念仏を伝えなければならぬと感じさせてもらいます。いろいろな思い、活動、または研修をスタッフの中で考えております。

ぜひ少年連盟に顔を出してください。共に活動してください。スタッフ一同心よりお待ちしております。